

(オ) たかまつ工芸ウィーク

1 事業概要

高松のサイト（店舗や施設）同士がつながりあい、工芸に特化した週間をつくりあげ、高松を工芸の発信地として広く内外にアピールすることを目的として開催した。

2 事業内容

開催期間：令和元年10月18日（金）～11月4日（月・祝）

（瀬戸内国際芸術祭秋会期の期間中 18日間）

主催：たかまつ工芸ウィーク実行委員会（高松市、高松商工会議所、高松市牟礼庵治商工会、香川県漆器工業協同組合、香川県盆栽生産振興協議会、IKUNAS、かがわ物産館「栗林庵」、kitahama blue stories、まちのシューレ963）

①統一した広報の実施

全体を網羅した広報物を作成し、チラシの配布・PRを行う。また、専用ホームページ及びインスタグラムを設けてweb上での広報も行い、瀬戸内国際芸術祭期間中の県外・国外からの来訪者への周知を行った。（瀬戸芸県内連携事業）

- ・リーフレット 35,000 枚、ポスター600 枚、産地ツアーチラシ 10,000 枚、のぼり 150 枚（各参加店舗、市内小学校、市関連施設、駅、空港、コンビニ等へ設置）
- ・たかまつ工芸ウィーク HP、インスタグラム、Web 広告

② 伝統的ものづくりの展示

市や県の施設での伝統的ものづくりの展示を通じ、高松の工芸の幅広さをPR

場所：香川県立ミュージアム、香川県漆芸研究所、

高松市美術館、高松市歴史資料館、高松市石の民俗資料館、讃岐漆芸美術館（民間）

③ 民間店舗での工芸品の販売

市内の民間店舗で工芸に関する自主企画等を実施いただき、伝統的ものづくりの商品に触れて、購入いただき、実際に使ってもらう。

場所：IKUNAS、かがわ物産館「栗林庵」、Kitahama blue stories、まちのシューレ963
他 11 店舗

④ ワークショップ、産地ツアー等の開催

伝統的ものづくりの周知及び販売促進のため、伝統的ものづくりに関するワークショップや産地ツアー等を開催。

ワークショップ等…7コース（讃岐かがり手まり、MY 箸、竹の指輪、お茶会、保多織おじゃみ、組手コースター、讃岐のり染め）

産地ツアー…庵治石 4名、盆栽 7名

令和元年度高松市伝統的ものづくり振興事業 実績報告

【事業の実績】

- ・参加・協力してくれた施設・店舗・イベント数
…42 か所・イベント
- ・参加者数等（ワークショップへの参加者、店舗での購入者、イベント等への来場者）
… 延べ 23,623 人

(3) 成果及び課題

成果

- ・たかまつ工芸ウィークに参加している店舗をいくつか巡ってくれる人もおり、普段来ない客層の方の来店もあった。
- ・瀬戸内国際芸術祭開催期間中に開催したこともあり、インバウンドの方も来店してくれた。
- ・1回だけやるよりは、2週に分けて2回行ったので、微々たるものだが2回目の方が人数は上がっているという事で、認知度がじわじわ来ていると思う。
- ・地図で販売店舗やワークショップなどの情報を掲載出来た。
- ・ワークショップを開催したが事業者が、工芸品の販売にも繋がった。

課題

- ・ホームページでは検索欄を設ける等、店舗を検索しやすいような改善が必要。
- ・今年度は小学校にリーフレットを配布したが、実際の参加者層等もふまえて、配布先については再度検討した方がいい。
- ・産地ツアーの集客に苦戦したため、周知方法やツアーの内容については検討が必要である。
- ・工芸に関係するそれぞれのスポットは充実しているが、工芸ウィーク全体の説明が難しく理解してもらいにくかった。商店街の空き店舗などを活用した、何か核になるイベントをしてもいい。
- ・県、市、商工会議所、各種組合、民間店舗が緩やかにつながって展開していくことが大切である。

